

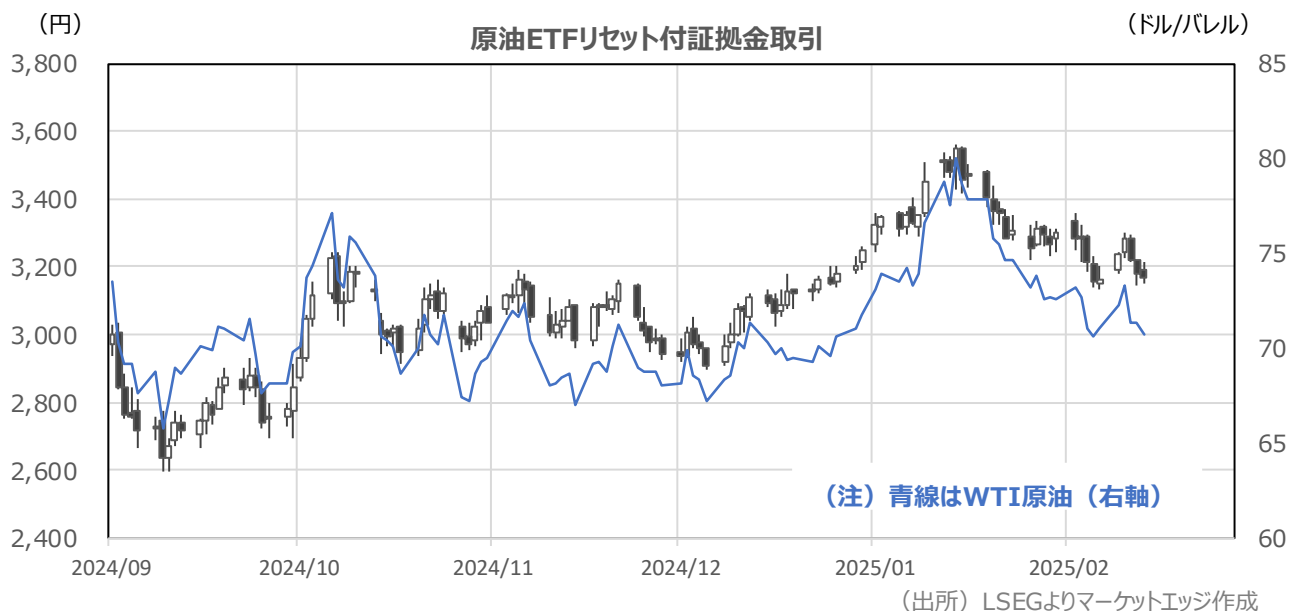
原油ETF証拠金取引 WEEKLY REPORT

2025/02/17号

マーケットエッジ株式会社 小菅努



【現状確認】



年初来安値を更新、ウクライナ戦争の終結期待も

NY原油先物相場は、1バレル=70ドル台まで下落し、昨年12月30日以来の安値を更新した。トランプ米政権発の通商リスクによる株価急落などは回避されているが、原油相場は需給緩和見通しの織り込みを続けている。米原油在庫が3週連続の増加になったこともあり、短期需給の緩みが意識されやすかった。冬季の需給引き締めりが終わったと評価されている。また、ウクライナの停戦期待が浮上し、ロシア産の供給不安が後退したこともネガティブ。国際エネルギー機関（IEA）が2025年世界石油需要見通しを前月から日量5万バレル引き上げ、前年比で110万バレル増としたが、相場への影響は限定された。

トランプ米大統領とプーチン露大統領は2月12日に電話会談を行い、ウクライナ戦争の終結に向けて交渉を開始することが合意された。トランプ大統領は、「遠くない将来に、停戦が実現する」との楽観的な見通しを示している。実際に停戦合意が実現するのか、さらにロシア産石油に対する制裁が解除されるのかは不透明だが、地政学リスクの緩和期待が原油相場の地合悪化に直結した。

米エネルギー情報局（EIA）発表の米石油在庫（2月7日時点）は、原油が前週比407万バレル増、ガソリンが304万バレル減、石油精製品が14万バレル増となった。

本資料のご利用については、必ず巻末の重要事項（ディスクレマー）をお読み下さい。

【展望】

70ドル割れ打診が続く、米原油在庫の増加続くかに注目

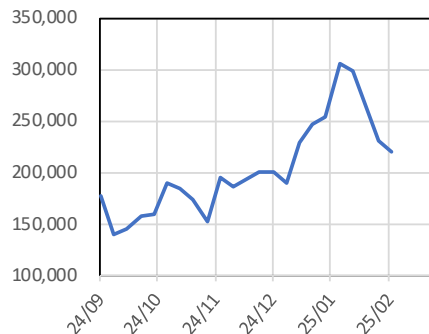
今週も戻り売り優勢の展開が続き、70ドルの節目割れが打診される見通し。短期需給が引き締まりから緩和にシフトしていることが嫌気されよう。米製油所は定期メンテナンスの時期に突入し、主に需要サイドの要因から米原油在庫は積み増しが促されやすい。在庫は9週連続で減少した後、3週連続で増加しているが、さらに原油在庫の積み増しが確認されると、売り安心感が強まりやすい。68～69ドル水準まで下値をみておきたい。

ウクライナ情勢が急速に動き始めていることにも注意が必要。まだ停戦に向けた協議が開始されたばかりだが、米国の仲介でロシアとウクライナとの間でも協議が継続されると、地政学リスクの緩和期待が原油相場の上値を圧迫しやすい。実際には、仮に停戦合意が実現しても、欧州連合（EU）が対ロシア制裁の緩和・解除に踏み切るのかは別問題だが、少なくともロシア産の供給環境が不安定化するリスクが軽減され始めていることはネガティブ。

米通商問題については、原油相場に対する直接的な影響は限定される見通し。2月13日に相互関税計画が発表されたが、各国との交渉の余地も示されており、当初警戒されていたほどには大きな混乱が生じない見通し。株式や非鉄金属相場などが冷静な対応を維持すれば、原油相場に対する影響も限定されよう。

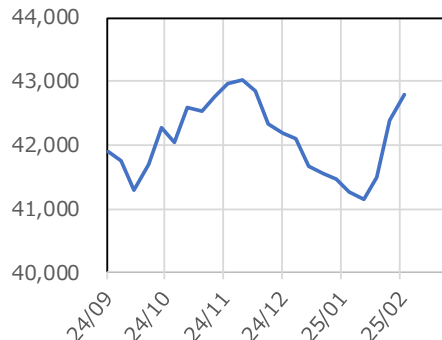
一方、イラン産の供給不安には注意が必要。トランプ米大統領はイランに対して「最大圧力」をかけ、イランの原油輸出をゼロにする必要性を訴えている。具体的な制裁の動きがみられると、瞬間的に急伸する可能性は想定しておきたい。

(枚) NY原油先物 大口投機筋ネット建玉



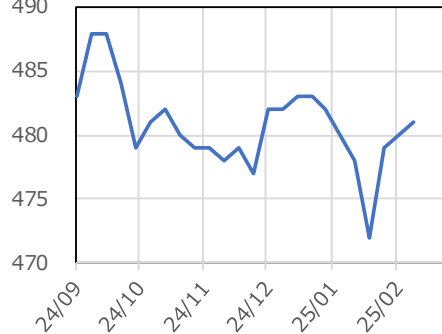
(出所) CFTCよりマーケットエッジ作成

(万バレル) 米原油在庫



(出所) EIAよりマーケットエッジ作成

(基) 米石油リグ稼働数



(出所) Baker Hughesよりマーケットエッジ作成

【ディスクレーマー（免責条項）】

本レポートは、本取引所がマーケットエッジ株式会社から提供を受けて、公表しているものであり、本レポートの内容に関する一切の権利は、マーケットエッジ株式会社に帰属いたします。本取引所は、本レポートの正確性、完全性、適時性等を保証するものではありません。また、本取引所は、本レポートを用いて行う一切の行為及び本レポートに基づいて被った損害について、何ら責任を負うものではありません。

株式会社東京金融取引所

本レポートは、マーケットエッジ株式会社（以下、弊社）が、投資判断の参考となる情報提供を目的に作成したものです。金融商品売買の勧誘を目的としたものではありません。投資に関する最終決定は、投資家ご自身の判断で行って下さい。本レポートは、弊社が信頼できると判断した情報源からの情報に基づき作成したのですが、情報の正確性、安全性を保証するものではありません。また、本レポートに記載された見解や予測は、本レポート発行時における弊社の判断であり、全部または一部が予告なしに変更されることがあります。本レポートを使用することに生ずるいかなる種類の損失についても、弊社は責任を負いません。本レポートの著作権は、原則として弊社に帰属いたします。本レポートにおいて提供される情報に関して、弊社の承諾を得ずに、当該情報の複製、販売、表示、配布、公表、修正、頒布または営利目的での利用を行う権利を有しません。

【会社名】 マーケットエッジ株式会社（Marketedge Co., Ltd.）

【所在地】 〒103-0014 東京都中央区日本橋蛸殻町1-18-1（古川ビル4F）

【URL】 <https://www.marketedge.co.jp/>

【電話】 TEL：03-6661-9498 【E-mail】 info@marketedge.co.jp

小菅努（こすげ・つとむ）プロフィール

1976年千葉県生まれ。筑波大学社会学類卒。商品先物会社の営業本部、ニューヨーク事務所駐在、調査部門責任者を経て、2016年にマーケットエッジ株式会社を設立、代表に就任。金融機関、商社、事業法人、メディア向けのレポート配信、講演、執筆などを行う。

最新情報は
ツイッターで

